

研究課題名	早期非小細胞肺癌に対する定位放射線治療の有用性の検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	放射線科 篠村 一磨
研究期間	(西暦) 2023年 6月 ~ (西暦) 2024年 3月
研究の意義・目的	肺癌は日本における悪性腫瘍全体の死因の第1位であり、罹患数は年々増加している。従来、診断時にはすでに進行癌となっているケースが多かったが、近年はCTスキャンなどの検査機器などの普及により、肺癌が早期に発見される機会が増えている。早期肺癌に対する現在の標準治療は手術だが、高齢化により手術不能な症例が増えている。手術不能例に対し定位放射線治療による治療の役割が大きくなっている。当院では早期肺癌に対する定位放射線治療を10年以上行っている。この研究の目的は、早期肺癌に対する定位放射線治療の治療成績と有害事象を明らかにすることである。
研究の方法 (対象期間含む)	西暦2014年6月1日から西暦2022年11月30日までに武蔵野赤十字病院放射線科で肺癌に対し定位放射線治療を行った患者を対象とする。対象患者のカルテ等を参照しデータを取得して研究を行う。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	① 早期肺癌に対する定位放射線治療の治療成績と有害事象を明らかにするために電子カルテや治療計画装置からデータを取得し、匿名化した上で統計解析を行う。 ②臨床所見(年齢、性別、肺癌の腫瘍径、病理組織診断など)、定位放射線治療に関する情報(照射のターゲットの体積、線量分割など)、治療後の臨床経過(治療後の局所再発の有無、遠隔転移の有無、生死など)、治療による有害事象(放射線肺炎や肋骨骨折の有無など)など ③研究責任者のみが使用する ④篠村 一磨
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 放射線科 篠村 一磨 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525